

江村りさ

プロフィール

- ・昭和60年10月生まれ。
- ・嵯峨野保育所
- ・嵐山小学校（H9年度卒）
- ・嵯峨中学校（H12年度卒）
- ・北嵯峨高校（H15年度卒・27期生）
- ・同志社大学政策学部卒業
- ・株式会社ミスミ（東証一部）勤務
- ・平成23年、7,863票を賜り25歳初当選
- ・同年4月、京都市議会議員 着任
- ・京都党幹事長／京都市市会議員団団長



江村りさの思い-4年間を振り返り-

大学時代に市議のもとで学生秘書を経験していた頃から、これからの時代に地方議員として求められるのは、「しがらみに囚われない一市民としての目で適正なまちづくりに向き合うこと」と感じてきました。

今、市議となり4年。

後ろ盾のない中で議員活動は決して簡単ではありません。しかし、自分の信じる道を貫いて、京都の為に尽くして参ります！！

江村理紗



日々活動に奮闘中



高雄マウンテンマラソンの式典出席



右京区各地での街頭活動報告



予算要望の提出@京都市役所



ラオスから来てくれたゾウの視察@京都市動物園



次世代を育てる学生ミーティングへの出席@東京都新宿



挨拶まわりに猛ダッシュ！

Pick up!

01

本来あるべき是々非々の議論を全うします！

—京都党しか言えない、出来ないことをやり続けます—

STOP



【議員自ら襟を正す】

議員定数削減に向け声を上げる！

都議会でヤジ問題に始まり、昨今では兵庫県議の政務活動費に関する騒動から様々な地方議会の問題が取り沙汰されました。地方自治体の行く末を担うべき地方議会は、まず自らが襟を正さなければいけません。4年前、京都党の結党当初より議会改革を進めるため定数削減に全力で取り組みました。結果はまず2名減。今後も海外視察費等、議員厚遇と見られるものに声を挙げ続けます。



【行政規律】

しがらみを断つ！

「頑張っている職員が報われる」そういった行政を作るべき、信賞必罰の徹底、責任の所在の明確化、たらいまわしの禁止など、「まともな行政づくり」に奔走しています。小栗栖排水機場（ポンプ場）の責任問題や特殊勤務手当の縮小など労働組合とのしがらみを持たないからこそできるスタンスも貫きます。

抜本改革大綱を守るよう条例提案！



民間に委託する方が安く、サービス水準も高い現場作業。既にこういったごみ収集作業

員などの現場作業の公務員の採用は職員による不祥事撲滅の観点からも平成18年より凍結されていたにも関わらず、市は突然の採用を再開。時代錯誤な方針のため、今後採用は行わないよう再凍結を求める条例案を提案しました。



【財政規律】

徹底した財政規律路線

とにかく“子供たちに借金によるツケを先送りしない”ことをお題目に、徹底的な財政再建路線を掲げています。



未来の予算・財産を取り崩す予算案や土地開発公社の解散先送り問題などをめぐり、正面から向き合うと同時に、市民に対する安易なばらまきやサービス合戦には反対、時代錯誤なサービスにも見直しを図るよう提案するなど現実的な路線を貫いています。行政改革の急先鋒として、市民感覚、民間感覚で取り組みます。

●平成25年度予算案に反対

公務員給与維持に向け将来の積立金に着手したため予算反対（修正案提案）

●生活保護の不正受給対策の強化

不正受給通報窓口の設置など

●船岡山公園賃料にメス

年間約8,000万円（H22）
⇒6,372万円（H25）

コラム

五山送り火被災松騒動への対応

平成23年、五山送り火で陸前高田の被災松を燃やす予定でしたが、京都市は判断を二転三転させ、結局焼却を断念。それは瞬く間に全国で取り上げられ、結果的に震災がれき受け入れの妨げにもなりました。京都党は唯一、京都人の誇りに掛けて、被災地へ何度も訪問し問題解決に当たると共に、被災地への謝罪と信頼回復のために奮闘しました。





「住み続けたい京都」であるために！！



「ビジョンなし、危機感なし、しがらみあり」 の政治から脱却を——

「京都是世界一の観光地」「財政は黒字」喧伝されることと実態は必ずしもイコールではなく、地方は人口減少、財政危機によって急速に勢いを失いつつあります。京都は政令指定都市の中で数少ない人口減少都市です。

今、京都は将来も選ばれ続ける都市像を描き舵を切らねばなりません。

しかし知らず知らずのうちに阻害しているのがしがらみです。業界と政治家、市長と議会、組合と議員など、しがらみは何重にも複雑に絡み合い改革を阻害しています。だからこそ私たちはしがらみをつくらず、市長とも業界とも組合とも馴れ合いにならない関係を重視しています。

危機感を持ち、しがらみを持たず、ビジョンを持つ——。

組織を立て直し、財政を健全化させながら、次に示さねばならないのは未来です。

都市間競争を生き抜くには明確なビジョンと街づくりの差別化が不可欠です。人口規模の維持拡大は行政サービスの維持向上と切っても切れない関係の為、暮らしやすさで選ばれ続ける街でなければなりません。

東京一極集中だけでなく、地方でも政令指定都市の一強多弱（とりわけ東北、北海道、九州はその傾向が強い）となっています。この傾向は留まらず、ビジョンを持たない自治体運営を続けられれば、選ばれない街は衰退を避けられません。

誰も真似できない京都独自の差別化の為に、文化の都として誰もが踏み難い皇族の京都移転などを筆頭にこれまでになかった政策提案、都市形成を図ります。未来志向と進歩的な政策で住み続けたい京都を目指します。



Pick up !

02

京都党の目指すライフサイクル

進学も就職も公教育でお任せ

日本一教育水準の高い都市京都を目指すと共に、小中学生時代に不登校などで学業に躓いた生徒へ高校で「学びなおし」ができる場を確保。入試や評定にとらわれず学ぶことへの再チャレンジができる機会を確保します。

- 府市◎エンカレッジスクールの創設
- 市◎高校入試の評定なしの実力枠創設

多子世帯は街の宝

子育てで支援数あれど、三人兄弟、双子など沢山お子さんを育てておられるご家庭の苦労は並大抵ではありません。出生率の回復の為に、多子世帯を応援します。

- 府市◎多子世帯の公営住宅優先入居
- ◎多子世帯への教育費減免



健康寿命を延ばす後押し

市民にとって豊かな老後を過ごすための脱病院死。

また、健康になるための予防医療には補助をし、頑張った方は評価される健康ボーナスを出し、緊急時に役立つ本人の医療情報をまとめるなど府市連携で環境整備に努めます。

- 府市◎受動喫煙防止条例の制定
- ◎70歳で医療費0ならボーナスを

教育

就職

結婚

出産

子育て

シルバー層

職場企業への就職を

人材確保に苦しむ市内企業と京都が誇る市内大学の就職マッチングを。

人口の1割を占める大学生の困り込みを早期に実現し、優秀な学生を市内企業へ誘導する。学生にとっては優先的に就職できるような仕組みを作る。

- 府市◎就職マッチング事業の創設
- ◎第二新卒の新チャレンジ

若者の所得水準UP

とにかく若者への所得移転こそ少子化対策の要です。その為には企業が儲かること。

儲かる街京都の実現に向け全力を尽くします。

- 府市◎連環型六次産業の支援
- ◎中小企業の海外進出支援

保育所整備と拡充

認定子ども園が広がれば、待機児童問題はほぼ解決されるはず。一時保育や病時保育をさらに拡充し、子育て出来る環境整備を進めて参ります。

また、市内企業支援策として、市内企業勤務者については市外保育園への受け入れを進めてます。

- 市◎市内通勤者の保育所受け入れ
- ◎病時保育・一時保育の拡充



右京区第2支部長
黒沢悠喜 (くろさわゆうき)

【略歴】

1979年(昭和54年)4月6日生
つわぶき保育園
西京極西小学校、西京極中学校
立命館宇治高校(1期生)
立命館大学
◎大学卒業後は長年スーパーフレスコでバイヤーを務める。究極の消費者目線で政治にモノ言う京都党支部長。

「生まれ育った京都を災害や犯罪に強く、人や環境にやさしい街にしたい。」その想いが強まる中で、未来を切り拓く京都党と出会いました。京都府政のために、頑張って参ります！！



京都党とは

地域政党「京都党」は、平成22年8月に前市会議員、企業経営者、元副市長、大学教授らと共に結党。地方主権で財源と権限の移譲が進む中、京都市の特色を活かすと共に、地域課題に根差した政策立案により、京都市政の新しい街づくりを目指す政党。



江村りさ事務所

〒616-8101 京都市右京区太秦和泉式部町13-2大村ビルB

TEL/FAX 075-354-6225

E-mail emurar@nifty.com HP <http://www.emurarisa.jp/>